

本院で網膜硝子体疾患手術を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

～手術時 (2020 年 1 月から 2024 年 11 月 20 日まで) に採取された眼内液の医学研究への使用のお願い～

【研究課題名】

網膜硝子体疾患患者の眼内液プロテオミクス解析

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2020 年 1 月～2029 年 8 月に当院で硝子体手術を受けられた方

【研究の目的・方法について】

網膜硝子体疾患は、年を取ることや体の代謝の問題、遺伝の影響など、様々な要因が絡み合っ起こり、視力に悪影響を与える病気です。特に、加齢黄斑変性や糖尿病網膜症といった病気は、先進国での失明原因の上位にあり、社会的にも経済的にも大きな影響を与えています。これらの病気は徐々に悪化していくため、早く見つけて治療を始めないと、視力を取り戻すのが難しくなります。そのため、タイミングよく、効果的な治療法を見つけることが重要な課題です。

これらの病気の進行には、体の炎症や異常な血管の増加、細胞の死や酸化ストレスといった、様々な分子レベルの仕組みが関わっています。この複雑な仕組みをより詳しく理解することが、今後の効果的な治療法を作り出すために欠かせません。ですが、今の治療法は病気の進行を抑えることが主な目的で、病気そのものを根本から治す方法は限られています。そのため、病気に特有のバイオマーカー（病気を示す目印）を見つけ、新しい治療の目標を発見することが求められています。

プロテオミクス解析という技術を使うと、病気に関係するタンパク質の変化を詳しく調べることができます。タンパク質は、遺伝情報から作られる分子であり、特に病気の進行には、遺伝子だけでは分からない働きが反映されるため、この解析方法は病気の仕組みを理解するために非常に役立ちます。

本研究では、網膜硝子体疾患の患者から採取した眼内液をプロテオミクス解析にかけることで、病気の進行や治療の効果に関わる新しいタンパク質やバイオマーカーを発見し、これまで解明されていなかった病気の仕組みを明らかにすることを目指しています。

研究期間：2024 年 11 月 21 日～2030 年 3 月 31 日

【使用させていただく試料・情報について】

本院におきまして、既に網膜硝子体疾患に対して硝子体手術の治療を受けられた患者さんの眼内液の残余を医学研究へ応用させていただきたいと思っております。その際、調べた結果と診療情報（例えば治療効果がどうであったかなど）との関連性を調べるために、患者さんの診療記録も調べさせていただきます。

なお、本研究に患者さんの眼内液（試料）及び診療記録（情報）を使用させていただきますことについては、本学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、患者さんの試料および診療情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、特定の個人を識別できないよう加工を施したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく試料・情報の保存等について】

眼内液の保存は論文発表後5年間、診療情報については論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、癌組織（試料）は焼却処分し、診療情報については、シュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。ただし、研究の進展によってさらなる研究の必要性が生じた場合はそれぞれの保存期間を超えて保存させていただきます。

【外部への試料・情報の提供】

本研究で収集した試料・情報を他の機関へ提供することはありません。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

大分大学医学部眼科学講座 中野 聡子

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来医薬品などの開発につながり、利益が生まれる可能性がありますが、万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である大分大学医学部眼科学講座の寄付金（武田研究助成—学術研究助成）を用いて研究が行われます。

りえきそうはん
【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ試料および診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの試料・診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

	所属・職名	氏名
研究責任者	大分大学眼科学講座 助教	中野 聡子
研究分担者	大分大学眼科学講座 教授	武田 篤信
	大分大学眼科学講座 助教	船津 淳

【既存試料・情報の提供のみを行う者】

	九州大学医学部眼科 教授	園田 康平
	九州大学医学部眼科 准教授	八幡 信代

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5904

担当者：大分大学医学部眼科学講座 助教 中野 聡子（なかの さとこ）